

令和4年度 法人本部 事業報告書

1. 概況報告

平成28年度に認定こども園の運営を開始して7年目の今年度は、仙北市から新たに「角館こども園」の事業を引き継ぎ、4月から5園の運営となりました。まずは、「角館こども園」の運営がスムーズに行うことができるよう、市の協力をいただきながら取り組み、保護者のご協力と職員の努力により、大きな事故やトラブルもなく運営することができました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染流行の波が何度もやってくる状況の一年で、その都度、園児の安全確保のため保護者等皆様のご協力をいただき、感染拡大防止に努めました。

コロナ禍での事業では、保育所等エアロゾル感染対策費補助事業や、新型コロナウイルス感染症に感染した子ども、臨時休業した小学校などで、子どもの世話を保護者として行うことが必要となった職員に対し、有給休暇を取得させた事業主を支援する助成制度に申請し、財源確保に努めました。

また、こども園での生活の中で子どもたちが使用した(取替えた)おむつについて、各家庭への持ち帰りを廃止し、園で廃棄処分する“おむつ持ち帰り廃止”を実施し、保育サービスの向上に努めました。さらに、一般財団法人、秋田県社会保険協会より、当法人が多年にわたり協会事業の運営に協力したことが認められ、功労事業所として表彰を受けました。

利用定員に対する充足率、重点的に取り組んだ事業について以下のとおり報告します。

(1) こども園の運営 (利用定員)

- ・だしのご園 利用定員 1号認定9人、2号・3号認定99人、計108人
 利用定員に対する充足率 1号認定47.2%、2号・3号認定99.0%
- ・神代こども園 利用定員 1号認定9人、2号・3号認定78人、計87人
 利用定員に対する充足率 1号認定3.7%、2号・3号認定95.9%
- ・にこにここども園 利用定員 1号認定6人、2号・3号認定74人、計80人
 利用定員に対する充足率 1号認定27.8%、2号・3号認定96.3%
- ・ひのきないこども園 利用定員 1号認定6人、2号・3号認定26人、計32人
 利用定員に対する充足率 1号認定0%、2号・3号認定81.1%
- ・角館こども園 利用定員 1号認定14人、2号・3号認定154人、計168人
 利用定員に対する充足率 1号認定47.6%、2号・3号認定100.4%

以下、一時預かり事業及び地域子育て支援拠点事業（子育て支援ルーム）の実績については、各園の事業報告書をご覧ください。

2. 本部の運営並びに事業の状況

(1) 職員の人材確保、育成に向けた取り組み

人材確保については、公募による採用試験で今年度、新たに保育教諭11名（内2名は新卒者）、栄養士1名、用務員1名の採用を決定し、市からは園長1名、副園長1名のほか、保育教諭7名を派遣していただきました。また、角館こども園の移譲に関する基本協定に基づき、

準職員 22 名（保育教諭 15 名、保育補助員 7 名）を採用し、また、調理員 6 名と保育教諭 4 名（内 3 名は新卒者）を準職員として採用し、運営に支障を来さないように努めました。職員退職に伴う事務局職員については、公募による採用試験で職に必要な知識、経験を有する社会人経験者 1 名の採用を行い事務局体制を整えました。

公募による令和 4 年度職員採用試験（保育教諭）については、応募者 23 名から 5 名の採用を内定し、内 1 名は新卒者となっています。

教育・保育の質の確保については、職員の知識・技能の向上を目指した処遇改善加算Ⅱに係る研修機会を可能な限り確保し、研修で得た知識や技術を保育運営への反映に努めました。

職員研修の参加実績については、各園の事業報告書をご覧ください。

（２）組織の強化について

定期的な園長会議（7 回）、副園長会議（1 回）、職種別情報交換会（2 回）を開催し、本部と各園との連携及び運営についての情報共有に努めました。

また、法人独自の研修としての「はなさき仙北研修会」において、保育教諭の情報交換及び資質向上を目指し、4 期に分けて学年担任別に研修（延べ参加者人数 228 名）を実施、活発な意見交換を行いました。

また、園評価実施要項を策定しこども園での統一に努めました。

（３）魅力あるホームページの更新

ホームページに「角館こども園」分を加え、担当者研修会を開催しこども園のタイムリーな活動、情報の掲載に努めました。

（４）施設の維持管理について

各施設での修繕については、迅速に対応し安全安心を最優先した生活環境の提供に努めました。

3. 理事・監事・評議員

令和 4 年度の理事（7 名）、監事（2 名）、評議員（9 名）は次のとおり。

理事長 武藤 清茂

理 事 坂本 佐穂、 眞崎 勲、 伊藤 キエ子、 佐川 俊也、伊藤 州子、
松田 良子

監 事 田口 和典、 藤村 好正

評議員 赤上 マツ、 草薨 悟、 加藤 隆政、 糸井 ミエ、 高橋 日子、
佐藤 節子、 中本 義範、 羽川 茂幸、 大沢 純子

4. 評議員会の開催状況

第1回 定時評議員会 令和4年6月17日（金） 10時00分

開催場所 仙北市役所西木庁舎 2階（201会議室）

評議員出席者8名／定数9名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第1号議案 定款の変更について（原案承認）

第2号議案 令和3年度計算書類及び財産目録の承認について（原案承認）

令和3年度事業報告

監査報告（決算監査）

〈報告〉

(1) 経過報告

(2) 監事の監査結果について

(3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果に基づく指摘事項の改善状況について

(4) 理事長専決事項について

(5) 理事会決議事項について

(6) 予算の流用について

(7) 予備費の使用について

5. 理事会の開催状況

第1回（定例会） 令和4年6月2日（木） 10時00分

開催場所 仙北市西木総合開発センター（集会室）

理事出席者7名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第1号議案 定款の変更について（原案承認）

第2号議案 準職員就業規則の一部改正について（原案承認）

第3号議案 経理規程の一部改正について（原案承認）

第4号議案 安全衛生管理規程の一部改正について（原案承認）

第5号議案 安全衛生委員会規程の一部改正について（原案承認）

第6号議案 令和4年度6月補正予算について（原案承認）

第7号議案 令和3年度事業報告及び収支決算の承認について（原案承認）

監査報告

第8号議案 役員等賠償責任保険契約について（原案承認）

第9号議案 定時評議員会の招集について（原案承認）

〈理事長職務執行状況報告事項〉

(1) 経過報告

(2) 監事の監査結果（定期監査）について

(3) 行政官庁が実施する検査又は調査結果に基づく指摘事項の改善状況について

- (4) 理事長専決事項について
- (5) 予算の流用について
- (6) 予備費の使用について

第2回（臨時会） 令和4年10月14日（金） 10時00分

開催場所 仙北市役所西木庁舎 2階（201会議室）

理事出席者5名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第10号議案 準職員就業規則の一部改正について（原案承認）

第11号議案 育児休業等に関する規則の一部改正について（原案承認）

第12号議案 介護休業等に関する規則の一部改正について（原案承認）

第13号議案 給与規程細則の一部改正について（原案承認）

第14号議案 休暇等に関する規程細則の一部改正について（原案承認）

第15号議案 令和4年度10月補正予算について（原案承認）

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 理事長専決事項について

第3回（定例会） 令和4年11月30日（水） 10時00分

開催場所 仙北市西木総合開発センター（農林研修室）

理事出席者5名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第16号議案 準職員就業規則の一部改正について（原案承認）

第17号議案 給与規程細則の一部改正について（原案承認）

第18号議案 令和4年度11月補正予算について（原案承認）

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1) 経過報告
- (2) 理事長専決事項について

第4回（定例会） 令和5年2月27日（月） 9時00分

開催場所 仙北市役所西木庁舎 2階（201会議室）

理事出席者6名／定数7名・監事出席者2名／定数2名

〈議事〉

第19号議案 だしのこ園園則（運営規程）の一部改正について（原案承認）

- 第 20 号議案 神代こども園園則（運営規程）の一部改正について（原案承認）
第 21 号議案 にこにここども園園則（運営規程）の一部改正について（原案承認）
第 22 号議案 ひのきないこども園園則（運営規程）の一部改正について（原案承認）
第 23 号議案 角館こども園園則（運営規程）の一部改正について（原案承認）
第 24 号議案 給与規程の一部改正について（原案承認）
第 25 号議案 令和 4 年度 2 月補正予算について（原案承認）
第 26 号議案 令和 5 年度事業計画及び令和 5 年度資金収支予算について（原案承認）
第 27 号議案 事務局長の選任について（原案承認）
第 28 号議案 園長の選任について（原案承認）

〈理事長職務執行状況報告事項〉

- (1) 経過報告
- (2) 監事の監査結果について
- (3) 行政官庁が実施する検査又は調査の結果について
- (4) 理事長専決事項について

6. 役員会の開催状況

第 1 回 令和 4 年 7 月 21 日（木） 10 時 00 分

開催場所 仙北市役所西木庁舎 2 階（201 会議室）

理事出席者 7 名・監事出席者 1 名

〈審議〉

- (1) 令和 4 年度職員採用試験（保育教諭）について
（採用予定数の決定、試験方法及びスケジュール等の決定）

7. 幼保連携型認定こども園の指導監査について（秋田県教育庁南教育事務所）

- ・ 場所及び日時 神代こども園：令和 4 年 12 月 6 日（火）10 時 00 分
角館こども園：令和 4 年 12 月 6 日（火）13 時 30 分
- ・ 場所及び日時 だしのご園：令和 4 年 12 月 12 日（月）14 時 00 分
- ・ 場所及び日時 ひのきないこども園：令和 4 年 12 月 15 日（木）10 時 00 分
にこにここども園：令和 4 年 12 月 15 日（木）13 時 30 分
- ・ 指導監査の結果（通知） 教南一1270 令和 5 年 1 月 11 日
- ・ 内容「監査実施施設については、文書指摘事項は認められませんでしたので通知します。」

8. 幼保連携型認定こども園の指導監査について（仙北市社会福祉課）

- ・ 今年度は実施されませんでした。次回は、令和 6 年度実施予定である。

9. 子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設の指導監査（確認監査）について （仙北市市民福祉部子育て推進課）

- ・ 今年度は実施されませんでした。

10. 監事による監査について

①決算監査 令和4年5月24日（火） 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容：・令和3年度事業報告書

・令和3年度計算関係書類、財産目録及び付属明細書

・決算監査資料（財務諸表の相互の関係、チェックシート）

意見：○事業報告等の監査結果

「業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しており、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。」

○計算関係書類及び財産目録の監査結果

「計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認める。」

②定期監査 令和4年9月7日（水） 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容：令和4年度第1四半期の業務執行状況及び会計処理について

監査意見：「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

③定期監査 令和4年12月6日（火） 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容：令和4年度第2四半期の業務執行状況及び会計処理状況について

監査意見：「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

④定期監査 令和5年2月8日（水） 10時00分 出席者 監事2名

開催場所 仙北市役所西木庁舎 法人事務室

内容：令和4年度第3四半期の業務執行状況及び会計処理状況について

監査意見：「事業計画書等に基づく施設運営及び会計処理における関係諸帳簿、預金通帳、証憑書類、その他関係書類は、いずれも関係法令に準拠し処理されているものと認める。」

⑤随時監査

新型コロナウイルスの感染防止の観点から、今年度は実施されませんでした。

11. 第三者委員及び関係職員打合せ会の開催

法人が実施する事業の利用者からの苦情及び要望に対し、客観性を確保し、利用者の立場や特

性を配慮した適切な対応をするため、委員と関係職員の打合せ会を開催しました。

開催日 令和4年9月29日（木） 15時00分 出席者8名／委員10名

開催場所：仙北市西木総合開発センター（集会室）

内容：委員の職務等について打合せしました。

12. 安全衛生委員会の開催

職員の安全衛生管理活動の円滑な推進を図るため委員会を設置し、衛生推進者等7名で構成し、開催しました。

開催日 令和5年3月28日（火） 16時00分 出席者7名／委員7名

開催場所：仙北市西木総合開発センター（集会室）

内容：安全衛生管理等について協議しました。

13. 角館こども園 衛生委員会の開催

法律に基づき、常時50人以上の労働者を使用する事業所として、産業医を選任し、11回の委員会を開催し、職員の安全と健康確保に努めました。

14. 資金収支決算（別紙のとおり）

令和4年度 幼保連携型認定こども園 だしのこ園事業報告書

1. 概況報告

本園では、遊びの中の学びや豊かな体験を積み重ね、子どもたちの生きる力を育み心優しい元気なたくましい子どもの育成を目標としている。令和4年度は『自ら興味をもって環境に関わり主体的に取り組む子どもの育成』を重点に環境の重要性、子ども理解につながる記録について、研修を通して共通理解を図りながら保育の充実を目指して取り組んできた。

子育て支援については、園開放も含めて未就園児の親子が気軽に利用できる雰囲気大切に、地域の子育て支援センターとしての役割を果たしてきた。

コロナ禍で、地域との交流や保護者会活動は縮小や中止になったものも多かったができる方法を考え取り組んできた。

経営の方針

①子どもの遊びの充実

子どもたちが自ら感じたり、考えたり、決めたり、行動したりすることの嬉しさを味わう体験を積み重ね、主体的な子どもの姿を目指し、環境や子どもの内面理解を考え、遊びや保育の充実に向け取り組んできた。

②保育者の研修の充実

様々な園外研修を通して専門性を高める。園内研修では、園内公開保育を行い、子ども理解に向けての協議など研修リーダーが先立ちとなり、計画の見直しを図りながら研修に取り組んでいる。

③家庭との連携と子育て支援の工夫

多様化する保護者ニーズの中で一人一人の保護者との関わりを大事にし、信頼関係を築く。子どもの園生活の様子を伝え、子どもを育てていく楽しさや成長の喜びを共有する。

④小学校との連携と地域との交流

小学校との連携については、授業参観や保育参観、会議など計画に沿って行ってきた。交流は中止になったものもあるが、次年度へ向け連携を継続していくことを確認した。地域との交流についてはコロナ禍の中、できる範囲での参加となった。

⑤安全衛生の意識向上と防災教育の推進

毎月の避難訓練と安全指導は、計画的に実施してきた。子どもたちは訓練を重ねることで指示に従うこと、安全に避難することなど身につけてきた。

事故や感染症の予防対策のほか、様々な状況を想定しての対応訓練を全職員で行うことが、安全で衛生的な環境、そして子どもの命を守るという意識につながってきている。

2. 利用定員

年 齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
1 号認定				3 人	3 人	3 人	9 人
2・3 号認定	9 人	1 7 人	1 0 人	2 1 人	2 2 人	2 0 人	9 9 人

3. 認定別・月別園児数

(単位：人)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1 号認定	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	49
2・3 号認定	93	94	94	96	98	99	99	101	101	101	100	100	1,176
合 計	97	98	98	100	102	103	103	105	105	106	104	104	1,225

4. 月別活動記録（園児分）

月 日	活動内容	成果	月 日	活動内容	成果
4 月 6 日	新しいお友達を迎える会	入園を祝う	11 月 10 日	防火パレード（5 歳児）	防災・地域交流
4 月 23 日	保育参観 保護者会総会	保護者との連携	11 月 10 日、11 日	中学生保育体験	中学生との交流
4 月 28 日	交通安全教室（5 歳児）	安全意識の向上	11 月 26 日	発表会	表現活動を楽しむ
5 月 13 日	園外保育（5 歳児）	地域の良さを知る	11 月 30 日	わんぱくフェスタ	祖父母参観
6 月 8 日	歯科検診	健康への関心	12 月 2 日	人形劇観劇	心の豊かさ
6 月 13～14 日 16～17 日	フリー参観日（3, 4, 5 歳児）	園生活の理解	12 月 7 日	ハピネッツスポーツ教室	体を動かす楽しさ
6 月 16 日	総合避難訓練	避難の仕方を知る	12 月 24 日	クリスマス楽しみ会	季節の行事
6 月 21 日	園外保育（5 歳児）	動物への関心	1 月 16 日	園外保育（4 歳児そり遊び）	雪遊びを楽しむ
6 月 24 日	『はたらくくるま』見学会	保護者会活動	1 月 27 日	園外保育（3 歳児そり遊び）	雪遊びを楽しむ
6 月 30 日	園外保育（4 歳児）	自然に親しむ	1 月 30 日	園外保育（5 歳児そり遊び）	雪遊びを楽しむ
7 月 22 日	夏まつり楽しみ会	異年齢交流	2 月 3 日	豆まき会	伝統行事
9 月 16 日	移動児童館	大道芸能への関心	2 月 4 日	保育参観（0, 2, 4 歳児）	成長の喜びの共有
9 月 29 日	園外保育（3 歳児）	戸外で体を動かす	2 月 14 日	保育参観（5 歳児）	成長の喜びの共有
10 月 5 日	就学時歯科検診（5 歳児）	就学への期待	2 月 16 日	母の会交通安全教室（5 歳児）	安全意識の向上
10 月 6 日	就学時検診（5 歳児）		3 月 3 日	ひな祭りお茶会	伝統文化、行事
10 月 8 日	だしのこスポーツフェスティバル 2022（運動会）	運動を楽しむ	3 月 10 日	お別れ会	異年齢交流
10 月 12 日	園外保育（4 歳児）	自然体験	3 月 15 日	卒園式予行（祖父母参観）	成長の喜び
10 月 14 日	園外保育（5 歳児）	自然体験	3 月 18 日	卒園式	成長を感じ誇りをもつ
10 月 17 日	総合避難訓練	危機管理	3 月 20 日	進級を祝う会	大きくなった喜び 進級への期待
10 月 31 日	園外保育（5 歳児）	近隣の地域を知る			
年間	避難訓練・安全指導・誕生会（毎月）				
	保護者会活動 ～ 除草作業（年 3 回） 広報発行（年 2 回） はたらくくるま見学会 冬の遊び場作り				

5. 職種別職員配置状況

(令和5年 3月 31日現在)

	園 長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医 薬剤師	合 計
正規職員	1	2	16			1		1		21
準 職 員			6	6	1	2	2			17
委託職員									3	3
合 計	1	2	22	6	1	3	2	1	3	41

＊地域子育て支援事業 配置職員 2名

一時預かり事業 配置職員 2名

特別支援 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開園時間	： 7 時 3 0 分～ 1 8 時 3 0 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定	： 8 時 3 0 分～ 1 5 時 3 0 分	早出 1 ： 7 時 3 0 分～ 1 6 時 1 5 分
保育標準時間認定	： 7 時 3 0 分～ 1 8 時 3 0 分	早出 2 ： 8 時 0 0 分～ 1 6 時 4 5 分
保育短時間認定	： 8 時 3 0 分～ 1 6 時 3 0 分	日勤 ： 8 時 3 0 分～ 1 7 時 1 5 分
＊保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅出 1 ： 9 時 0 0 分～ 1 7 時 4 5 分
		遅出 2 ： 9 時 4 5 分～ 1 8 時 3 0 分

7. 職員研修実績

- (1) 園外での職員研修は、コロナウィルス感染対策等で参加できなかったものもあったがリモートも含め、今年度は、参加研修 81 回、延べ人数 150 人であった。
研修後は園長へ口頭での復命を行うことで、研修の再確認にもなり、書面での復命はもちろんであるが、更に職員会議でも復命して、他の職員への周知及び知識の習得につなげている。
- (2) 園内研修では、月 1 回できるだけ多くの職員が参加できるよう研修時間の確保を工夫する。研究テーマを『自信をもち、自分で考え行動できる子どもを目指して』とし、主体的な子どもの遊びを支えるための保育者の援助や環境構成について考え取り組んできた。今年度は、研修の目的を明確にするとともに、全クラスの園内公開保育を行い、子どもの具体的な姿を語りながら自分たちの保育の方向性や指導計画の書き方について学び合い研修の充実につながっている。

8. 学校評議員会・職員会議・委員会等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議（6 月・2 月）、外部評価への協力

(2) 職員会議

定例会議（毎月）、各委員会会議（随時）、行事等の会議

(3) 給食委員会、安全指導委員会、保健衛生委員会…毎月開催

(4) 特別支援委員会

毎月開催、専門家・支援チームにおける巡回相談（2回）、事例研修等

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練及び対応訓練

避難訓練・安全指導（毎月）、総合避難訓練（6月、10月）、安全点検(毎月)

職員の不審者対応訓練（1回は仙北警察署との訓練）、発電機使用の訓練

ノロウイルス・感染症対応訓練、アレルギー対応訓練、AED 訓練

(2) 健康管理

園児：内科検診（2月）、歯科検診（6月）、入園時内科検診（随時）

3歳以上児聴力・視力検査

・3歳児、4歳児～視力11月 聴力12月

・5歳児 ～視力 5月、聴力 9月

職員：健康診断（年1回）、全職員腸内細菌検査（年2回）

給食関係者及び乳児担当者腸内細菌検査（毎月）、ノロウイルス検査（年6回）

(3) 衛生管理

園内清掃（毎日）・保育室等消毒（週1回）、園外（動物の糞対策）、防虫等

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、72人。

(2) 一般型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、51人。

(3) 連携施設（ねむねむのき）

延べ利用者人数は、17人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、担当職員2名を配置して、子育て中の保護者の交流の場として活用されている。だしっこルーム29回、利用者79組、延べ160人。園開放7回、利用者18組延べ40人。

家庭で育児をしている母親たちは、地域の親子と触れ合う機会が少なく、不安やストレスを抱えがちなので、話をしたり、園の行事に参加したりすることで、親も子どもも楽しい時間を過ごすことが心の安定につながっている。

令和4年度 幼保連携型認定こども園 神代こども園事業報告書

1. 概況報告

生きる力の基礎となる資質・能力を育てるため、子どもが主体的に遊びに取り組むと共に、心や体を動かし思考力や想像力が育まれる環境づくりを意識し、実践するようにしてきた。また、子どもが遊びの中で経験していることを読み取ることで、行動や心情を理解し、心身の調和の取れた発達を支えるように努めた。コロナウイルス感染対策のため、活動には制限もあったが、子どもの育ちに必要な経験を保障するために、できる限りの工夫をして行った。また、保護者へ情報発信することで理解と協力を得るようにし、相互理解に努め、子どもの育ちを支えるようにしてきた。

(1) 教育・保育部門

重点目標を『自ら環境に関わり、思いを表現する子どもの育成』とし、子ども一人一人を尊重し、思いや願い、興味・関心を子どもの姿から読み取ることに努めながら、子どもが主体的に遊びや活動に取り組み、心豊かに思いを表現する環境の構成を心がけた。また、各年齢の育みたい力を明確にし、実践と評価に基づく指導計画の作成、改善に努めた。

(2) 給食部門

食は健やかな子どもの育成の基盤と捉え、食べる楽しさと命の尊さを伝えながら、おいしく栄養バランスに考慮した給食を提供するようにした。また、アレルギー児に対しては家庭と連携し、安全に十分な配慮をしながら除去食を提供してきた。

誤食をおこさないために、行程の中で5段階の調理手順を基に【確認】を行っている。

2. 利用定員

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				3人	3人	3人	9人
2・3号認定	9人	11人	10人	15人	14人	19人	78人

3. 認定別・月別園児数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	4
2・3号認定	73	73	73	73	72	73	74	76	78	79	79	79	902
合 計	73	73	73	73	73	74	75	77	78	79	79	79	906

4. 月別活動記録（園児分）

月 日	活動内容	成果	月 日	活動内容	成果
4 月 1 日	保育始まり		11 月 9 日	園外保育(5) 大森山動物園	動物を知り、親しむ
4 月 6 日	入園式	入園を祝う	11 月 25 日	内科検診Ⅱ	
5 月 18～20 日	フリー参観		11 月 30 日	発表会予行・祖父母参観	
5 月 24 日	内科検診Ⅰ		12 月 3 日	発表会(4)	表現を楽しむ
5 月 25 日	園外保育(4・5) 農業科学館	季節を感じて	12 月 13 日	人形劇鑑賞	心情豊かに
5 月 30 日	さつまいも苗植え	生長を楽しみに	12 月 17 日	発表会(3.5)	表現を楽しむ
6 月 9 日	園外保育(5) 地域探検	地域を知る 自然に親しむ	12 月 23 日	クリスマス会	季節の行事を楽しんで
6 月 17 日	園外保育(3) ラベンダー園	季節を感じて	1 月 20 日	そりすべり遠足(5)	自然に親しんで
6 月 22 日	歯科検診		1 月 26 日	そりすべり遠足(4)	自然に親しんで
7 月 4 日	園外保育(4・5) ふるさと村	自然に親しんで	2 月 3 日	豆まき会	日本古来の行事に親しむ
7 月 16 日	夏まつり	季節の行事を楽しむ	2 月 4 日	親子運動遊び(3.4.5)	親子で運動を楽しむ
7 月 22 日	不審者対応訓練(外部指導)	危機管理	2 月 8 日	保育参観日(5)	子の成長の相互理解
8 月 下旬	視力検査		2 月 10 日	そりすべり遠足(3)	自然に親しんで
9 月 月上旬	聴力検査		2 月 17 日	保育参観(3・4) 進級説明会	子の成長の相互理解
9 月 15 日	園外保育(5) 内陸線阿仁合駅	地域を知る	2 月 24 日	R5. 入園説明会	園生活理解
9 月 22 日	園外保育(4) 田沢湖	地域を知る 自然に親しむ	3 月 1 日	保育参観日(0・1・2) 親子音楽遊び	子の成長の相互理解 親子で音楽遊びを楽しむ
10 月 1 日	運動会	運動を楽しむ	3 月 3 日	ひな祭りお茶会 ひな祭り会	お茶の作法を知り味わう 日本古来の行事に親しむ
10 月 6 日	さつまいも掘り	収穫を喜ぶ	3 月 10 日	お別れ会	成長を喜び合う
10 月 12 日	総合避難訓練	危機管理	3 月 15 日	卒園式予行・祖父母参観	
10 月 18 日	園外保育(3)ラベンダー園	自然に親しんで	3 月 17 日	卒園式	卒園を祝う
10 月 21 日	園外保育(4・5) 農業科学館	果樹への関心 自然に親しんで	3 月 20 日	修了式	成長を喜び合う

毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練は毎月実施 保護者面談（5月～6月） 保護者会環境整備（5月、7月、9月）

5. 職種別職員配置状況

（令和4年 3月 31日現在）

	園 長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医 薬剤師	合 計
法人職員	1	2	15		1	1		1		21
準職員			3	5		2	1			11
委託職員									3	3
合 計	1	2	18	5	1	3	1	1	3	35

＊地域子育て支援事業 配置職員 2名

一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開園時間	： 7 時 3 0 分～ 1 8 時 3 0 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定	： 8 時 3 0 分～ 1 5 時 3 0 分	早出 1 ： 7 時 3 0 分～ 1 6 時 1 5 分
保育標準時間認定	： 7 時 3 0 分～ 1 8 時 3 0 分	早出 2 ： 8 時 0 0 分～ 1 6 時 4 5 分
保育短時間認定	： 8 時 3 0 分～ 1 6 時 3 0 分	日勤 ： 8 時 3 0 分～ 1 7 時 1 5 分
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅出 ： 9 時 4 5 分～ 1 8 時 3 0 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

コロナウイルス感染対策のため、オンラインでの研修が今年度も多かったが、積極的に参加して資質の向上に努めた。研修を通して専門性を学ぶことで職員の意識も高まり、保育に生かすことにもつながった。参加研修回数 7 3 回、延べ参加人数 1 1 4 名。

また、はなさき仙北研修会は 3 2 回開催、延べ参加人数 5 8 名。学年で事例を出し合い子どもの姿を語ることで、子ども理解、保育の振り返りや気付きの機会になった。

(2) 園内研修

テーマを「心豊かに思いを表現する子どもを目指して」とし、子どもの心を動かす環境の構成という視点から探り、研修を進めていった。園内公開保育を 6 回実施、ワークショップ型による協議を行った。また、毎月の園内研修では年齢別、グループ別に話し合い、保育の振り返りとよりよい援助や環境構成について研修を深めた。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議を 2 回。2 回目は学校評価委員会を兼ねて開催した。多方面からご意見や気持ちをいただき、園運営の改善につなげることができた。コロナウイルス感染対策のため、入園式、卒園式、夏祭り、運動会への招待は行わなかった。

(2) 職員会議

定例会議（毎月）、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合う。（メンバー構成～園長、副園長、主幹保育教諭、特別支援コーディネーター）

(4) 食育委員会

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。食育の進め方について話し合う。

(5) 安全管理委員会

毎月開催。避難訓練、安全指導及びヒヤリハット事例を基に改善策について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練（毎月）、総合避難訓練（10月）、安全点検（毎月）、安全指導（毎月）

(2) 健康管理

園児：内科検診（5月・11月）、歯科検診（6月）、入園時内科検診（随時）

尿検査、視力・聴力検査（3歳以上児）

職員：健康診断（年1回）、給食関係者及び乳児担当者検便（毎月）

給食関係者（ノロウイルス検査6回）、乳児担当者（ノロウイルス検査6回）

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒（感染性の病気の流行期には毎日玩具等）

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、1人。

(2) 一般型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、8人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週火曜日9時30分から11時30分まで「わいわい広場」を開催した。子育て中の保護者の交流の場として活用された。

西園舎の1室が支援室となっていることや低年齢児に合わせた温かみのある環境から、ゆったりと居心地よく利用する親子の姿が見られた。また、積極的に情報を発信したり、活動内容に給食試食等工夫したりすることで、回を重ねるごとに参加する親子が多くなっていった。

38回開催。利用者人数は、延べ232人（116組）であった。

12. 園児への虐待防止に向けての取組

- (1) 虐待防止マニュアル、チェックシートからそれぞれの保育行為を振り返る。
- (2) 職員倫理綱領、虐待防止規定を順守する。
- (3) 園内虐待防止委員会を機能させる。
- (4) 保護者・第三者・職員による保育サービス適正化委員会を開催する。

令和4年度 幼保連携型認定こども園 にこにここども園事業報告書

1. 概況報告

はなさき仙北の基本理念や方針を心にとめて、園全体で子ども一人一人の発達や育ちを理解し、保育者も子どもと共にたくさん遊びながら、健やかな成長の手助けができるように努めた。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、いろいろな活動の縮小や見直しが行われたが、保護者の理解と協力を得て、子どもたちに味わわせたい必要な経験や体験などできることは何かを考えて、子どもたちとともに環境を作り、いろいろな活動に取り組んでいくようにした。

(1) 教育・保育部門

園目標を「心豊かに たくましく広がり にこにこの輪」として一人一人の興味、関心を探りその子の良い面を見つけ、発達を理解しながら、内面を読み取り子ども理解に務めた。より良い保育の環境の構成を考えながら質の向上を目指した。

(2) 給食部門

栄養価を満たすことはもちろん体も心も育まれるようにという願いをこめて給食を提供している。旬の食材を使い、地元の食材を使って「安全でおいしい給食」を目指している。又、アレルギー児に対しては家庭と連携し、安全に配慮しながら除去食を提供している。様々な経験を通して、みんなで食べる喜びや食事への興味が持てる環境づくり・食育活動に努めている。

2. 利用定員

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				2人	2人	2人	6人
2・3号認定	9人	11人	11人	9人	16人	18人	74人

3. 認定別・月別園児数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	20
2・3号認定	70	70	70	70	70	71	71	73	73	73	73	73	857
合 計	71	71	71	71	72	73	73	75	75	75	75	75	877

4. 月別活動記録（園児分）

月 日	活動内容	成果	月 日	活動内容	成果
4 月 7 日	入園式	入園を祝う	12 月 3 日	発表会	表現を楽しむ
5 月 26 日	園小中合同引き渡し訓練	危機管理	12 月 8 日	ミニ発表会	表現を楽しむ
5 月 31 日	さつまいもの苗植え	生長を楽しむ	12 月 23 日	クリスマス会	季節の行事
7 月 16 日	夕涼み会	表現を楽しむ	1 月 18 日	もちつき会	季節の行事
7 月 21 日	3・5 歳児保育参観	親子の触れ合い	1 月 20 日	4 歳児保育参観	成長を喜ぶ
7 月 22 日	5 歳児保育参観	親子の触れ合い	1 月 30 日	3 歳児保育参観	成長を喜ぶ
7 月 27 日	4 歳児保育参観	親子の触れ合い	2 月 3 日	豆まき会	季節の行事
10 月 1 日	運動会	運動を楽しむ	2 月 8 日	5 歳児保育参観	親子の触れ合い
10 月 18 日	さつまいも掘り	収穫を喜ぶ	2 月 10 日	0, 1, 2 歳児保育参観	親子の触れ合い
10 月 25 日	総合避難訓練	危機管理	2 月 10 日	紙風船上げ	地域の行事
11 月 9 日	0, 1, 2 歳児保育参観	親子の触れ合い	3 月 3 日	ひな祭り会	季節の行事
11 月 14 日	焼き芋会	収穫を喜ぶ	3 月 17 日	卒園式	卒園を祝う
11 月 24 日	不審者対応訓練	危機管理	3 月 20 日	修了式	成長を喜び合う
毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練 内科検診（6 月、10 月） 歯科検診（5 月） 聴力、視力検査（12 月） 園外保育～ りんごの花見、りんご狩り（果樹への関心～農業科学館） 各種公園（一丈木公園、ラベンダー園）、そり遊び 保護者会環境整備（6 月、10 月）保護者会研修（親子でポロリトミック 9 月）					

5. 職種別職員配置状況

（令和 5 年 3 月 31 日現在）

	園 長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	用務員	嘱託医 薬剤師	合 計
正職員	1	2	15		1	3			22
準職員			2	4					6
委託職員								3	3
合 計	1	2	17	4	1	3	0	3	31

＊地域子育て支援事業 配置職員 1 名
一時預かり保育事業 配置職員 2 名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開園時間	： 7 時 3 0 分～ 1 8 時 3 0 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定	： 8 時 3 0 分～ 1 5 時 3 0 分	早出 1： 7 時 3 0 分～ 1 6 時 1 5 分
保育標準時間認定	： 7 時 3 0 分～ 1 8 時 3 0 分	早出 2： 8 時 0 0 分～ 1 6 時 4 5 分
保育短時間認定	： 8 時 3 0 分～ 1 6 時 3 0 分	日勤： 8 時 3 0 分～ 1 7 時 1 5 分
* 保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅出： 9 時 4 5 分～ 1 8 時 3 0 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

幼保推進課、各保育協議会の主催による園外研修及び、キャリアアップ研修の参加は、オンライン研修が主となって行われた。研修を自分だけのものとせず、復命したり、実践したりすることで学びも深まっていった。参加研修回数 53 回、延べ参加人数 72 人。また、仙北市の研修に参加し、市内の職員と交流を図りながら研修を進めることができた。参加研修回数 8 回、延べ参加人数 28 人。はなさき仙北の研修では各年齢で事例を持ちより、子どもの姿の捉え方が具体的になり、共通理解してそれぞれの学びとなった。参加研修回数 38 回、延べ参加人数 62 人である。

今年度は、仙北市の就学前・小学校等地区別合同研修会の公開園となり、小学校や保育園、こども園の先生たちと学び合い、円滑な接続の在り方について相互理解が深まった。

(2) 園内研修

テーマを「ワクワク！もっとやりたい！ ぼく、わたしってすごいんだ！ 自己発揮しながら遊ぶ子どもを目指して」～一人一人が伸び伸びと遊ぶための保育者の見取りと手立てを考える～として自己発揮している姿はどんな姿なのか、各学年で話し合い、それぞれの子どもの姿や実態を捉え、見通しをもってかかわることを積み重ねていった。また、各学年の研究の視点を作成し、保育者間で共通理解をしていく。そして全学年で保育公開をして話し合い、事後検証報告することで、さらに内容が深まりそれぞれの目指す学年の子どもの姿に近づき、来年度の課題へとつながることができた。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

定例会議を 2 回行う。自己評価を基に貴重な提言があり、今後の園運営につなげることができた。

(2) 職員会議

定例会議（毎月）、各委員会会議、行事担当者会議

(3) リーダー会議

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合

う。(メンバー構成～園長、副園長、主任、子育て支援、一時保育、学年リーダー)

(4) 食育委員会

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。食育の進め方について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練(毎月)、総合避難訓練(6月、10月)、不審者対応訓練、引き渡し訓練
安全点検、安全指導

(2) 健康管理

園児：内科検診(6月・11月)、歯科検診(6月)、入園時内科検診(随時)

尿検査、視力・聴力検査(3歳以上児)

職員：健康診断(年1回)、給食関係者及び乳児担当者検便(毎月)

給食関係者、乳児担当者(ノロウイルス検査6回)

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型

仙北市預かり保育事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、11人。

(2) 一般型

仙北市一時保育事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、2人。

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週木曜日9時30分から11時30分まで「なかよしひろば」を開催した。子育て中の保護者の交流の場として活用されている。今年度は32回開催。利用者人数は、延べ97人(48組)であった。また、子育て相談として、トイレ・トレーニングの相談が1件あった。

令和4年度 幼保連携型認定こども園 ひのきないこども園事業報告書

1. 概況報告

小規模な園の良さを活かし、大きな家族のように異年齢が自然に混ざり合い、全職員で全園児にかかわる園経営を行ってきた。

また、常に年齢が混ざり合うだけでなく、年齢ごとに育まれていく経験の積み重ねができるよう年齢ごとの活動を意識した環境に努めている。

地域の中で大事にされている多世代の交流もコロナで消滅されることのないよう、職員や各団体間で、意見や考えを出し合い、感染予防に努めながら、様々な活動ができるよう心がけて過ごしてきた。

(1) 教育・保育部門

「豊かな心をもちいきいきと遊ぶ子ども」を園目標に園の子どもの姿を話し合う中で、重点目標を「主体的な生活と遊びを支えていくための手立てを考える」とした。

友達とかかわって遊ぶことが楽しいと思える子どもの育ちを支えられるよう、心の動きやつぶやきを見逃さないことで興味・関心を読み取り「個」から「多」へ広がるような関わりを意識してきた。

子どもたちが経験したことを年長児が中心となり、誘い合い一緒に遊びを楽しむ姿が多くなった。

また、発達の過程を踏まえながら、子どもの育ちを家庭、地域にも発信し、共に支えて育てていく協力体制をつくっていくことを心がけてきた。

(2) 給食部門

「楽しく食べる子どもに」を目標に食育計画を作成し、計画的に指導をしてきた。

毎月の献立表も年齢に合わせて未満児用、以上児用があり、献立表には、季節の食育に関する内容やレシピも載せて家庭でも作れるよう発信してきた。

「畑栽培」は、じゃがいも、さつまいもや大根など様々な野菜の収穫の喜びと共に、給食の食材の中に入れてもらったりクッキングをしたりしながらみんなで食べる喜びを感じると共に食に対する関心がより一層深まった。

2. 利用定員

年 齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計
1 号認定				2 人	2 人	2 人	6 人
2・3 号認定	3 人	4 人	5 人	5 人	4 人	5 人	26 人

3. 認定別・月別園児数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2・3号認定	21	21	21	21	21	22	22	21	21	21	21	21	254
合 計	21	21	21	21	21	22	22	21	21	21	21	21	254

4. 月別活動記録（園児分）

月日	活動内容	成果	月日	活動内容	成果
4月 6日	入園式	入園を祝う	11月 19日	祖父母参観、小1年生参加	祖父母の前で喜んで発表する。
5月 17日	ジャガイモの種芋植え	畑栽培	12月 3日	発表会	自信をもち友達と一緒に発表する
5月 23日	野菜（さつまいも含む）苗植え	畑栽培	12月 9日	小1年生との交流会(5歳児)	1年生の作ったおもちゃで遊ぶ
5月 26日	中・小・園合同避難訓練	保護者への園児引き渡し訓練	12月 13日	高齢者との交流会	地域の方と触れ合い温かい気持ちをもつ
6月 13日	園外保育 3～5歳児（神岡中央公園）	自然に触れて遊ぶ	1月 11日	サッカー教室	ルールを守って体を動かす
6月 15日	交通安全教室	交通安全について学ぶミニ制服着用	1月 16日	園外保育 3～5歳児（田沢湖スキー場）	そり遊びを楽しむ
7月 1日	歯磨き指導	虫歯予防について学ぶ	1月 25日	餅つき会	伝統行事を楽しむ
7月 6日	サッカー教室	ルールを守って体を動かす	1月 28日	ミニ紙風船づくり	親子で制作を楽しむ
7月 7日	七夕会	季節の行事	2月 3日	豆まき	季節の行事
7月 13日	園外保育 3～5歳児（田沢湖）	地元の良さに気付く	2月 10日	紙ふうせん上げ	地域の行事に参加
7月 30日	夏祭り	親子でお祭りを楽しむ	2月 13日	交通安全教室（5歳児）	交通安全母の会の方から学ぶ
10月 1日	親子運動会	戸外で体を思いっきり動かし楽しむ	2月 18日	保育参観	一年の成長を伝え合う
10月 3日	不審者対応訓練	指示に従って行動する	2月 27日	小1年生との交流会(5歳児)	一年生から小学校について教えてもらう
10月 6日	園外保育 3～5歳児（農業科学館）	リンゴ狩りの経験をする	3月 1日	けいらん（ささ餅）作り	地域のお菓子作り
10月 20日	園外保育 5歳児（西明寺河川公園）	重機の乗車体験をする	3月 3日	ひなまつり	季節の行事
10月 21日	総合避難訓練	煙道訓練、避難の仕方を知る	3月 14日	お別れ会	5歳児に感謝の気持ちをもつ
11月 11日	焼き芋会	収穫した喜びを感じる	3月 18日	卒園式	卒園を祝う
11月 18日	味噌づくり体験	大豆をつぶし、みその完成を待つ	3月 30日	修了式 1歳～4歳児	成長を喜び合う
毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練 内科検診（6月、10月） 歯科検診・尿検査（6月） 聴力・視力検査（7月） 保護者会環境整備（6月、7月、9月）					

5. 職種別職員配置状況

(令和4年3月31日現在)

	園長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医 薬剤師	合 計
法人職員	1	1	10		1	1				14
准職員			1			1		1		3
パート職員 (准職員)				1			1			2
委託職員									3	3
合 計	1	1	11	1	1	2	1	1	3	22

＊地域子育て支援事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開園時間	： 7 時 3 0 分～ 1 8 時 3 0 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定	： 8 時 3 0 分～ 1 5 時 3 0 分	早出 ： 7 時 3 0 分～ 1 6 時 1 5 分
保育標準時間認定	： 7 時 3 0 分～ 1 8 時 3 0 分	日勤 ： 8 時 3 0 分～ 1 7 時 1 5 分
保育短時間認定	： 8 時 3 0 分～ 1 6 時 3 0 分	遅出 ： 9 時 4 5 分～ 1 8 時 3 0 分
＊保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

リモート研修が多くなり、リモート研修のための環境が整い、開催された研修には積極的に参加し、保育の専門性と保育の質の向上を目指した。参加研修回数は、53回で延べ76人が参加した。

また、はなさき研修会は、21回で延べ24人が参加した。

(2) 園内研修

重点目標「主体的な生活と遊びを支えていくための手立てを考える」とし、エピソード記録、園内公開保育、日々の保育を語り合いながら研究を進めた。

園内研修委員を中心に深まる内容にしていくため、園内研修の前後の打ち合わせをしながら、内容がぶれないよう研修を積み重ねてきた。

特別支援委員会の中では、園児の特性に合った保育を進めていくために、園全員でその方向性を共通理解していくようにした。専門家・支援チームにおける巡回相談を2回行い個々の園児に対して、適切な指導・援助のアドバイスをいただき、今後の指導に生かしていくことにした。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

学校評議員会を7月と2月の2回開催する。1回目は、保育参観と園運営全般を伝える。2回目は保育参観と職員の自己評価や保護者アンケートの集計を基に貴重な意見をいただき、今後の園運営の方向性を確認することができた。

(2) 職員会議

定例会議（毎月）、各委員会会議、行事担当者会議、特別支援委員会等（随時）
毎週金曜日に次週の打ち合わせ等を行った。

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、行事、研修、保護者支援等の運営全般にわたり話し合った。（メンバー構成～園長、副園長、子育て支援、一時保育担当者）

(4) 給食委員会等

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。食育の進め方について話し合った。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 安全指導・避難訓練（毎月）、総合避難訓練、安全点検、不審者対応訓練

アレルギー対応訓練、AED訓練、消火訓練、発電機作動訓練

(2) 健康管理

園児：内科検診（6月・10月）、歯科検診（6月）、入園時内科検診（随時）

脊柱・運動器保険調査、尿検査（3歳以上児）、視力・聴力検査（3歳以上児）

職員：健康診断（年1回）、職員全員検便（年2回）

給食関係者及び乳児担当者検便（毎月）

給食関係者（ノロウイルス検査6回）

(3) 衛生管理

清掃、消毒（毎日玩具等）、防虫駆除

薬剤師による検査（ダニ、騒音、採光、室温等）

職員、園児共に手洗い、うがい、手指の消毒の徹底、体温の記入

職員、保護者は、マスク着用で園内の出入り（行事の際、保護者も体温を記入）

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施しているが利用者はなし。

(2) 一般型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施し延べ利用者は、4人。

11. 子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置し、毎週水曜日 9 時 30 分から 11 時 30 分まで「さくらんぼルーム」を開催した。利用者は少なく、40 回開催で利用者人数は、延べ 26 人（17 組）であった。

11 月は、絵本の読み聞かせの会「ケセラン・パサラン」の絵本の読み聞かせを開催した。2 月は、にこにこ子ども園と合同で西木庁舎の市民休憩室を会場に、バレンタイン制作を行った。

12. 地域との連携（園・小・中の連携含む）

地域の高齢者の方との触れ合いを大事にし、上桧木内地域のいきいきサロン等の方々との交流を行った。

就学児が小学校へスムーズに移行できるように、園と小学校の連携事業の年間計画を作成して実施した。

園・小・中学校と合同で、引き渡し訓練を小学校に集合し、実施する予定だったが、コロナの影響で、実施日は同じで園・小・中の各学校等へ保護者が向かう訓練を行った。

小学校の広いプールを借り、4、5 歳児が思いっきり泳ぐことができた。

小学校の発表会予行に 5 歳児が招待される。園の発表会予行に小学一年生に来てもらい共通のダンスを一緒に踊ることができた。

冬の上桧木内地区の紙風船上げの伝統行事へは、昨年度上げることのできなかった紙風船と今年度制作した紙風船を一緒に上げることができた。

中学 3 年生が家庭科の授業の中で園児と触れ合い、園児も楽しい時間となった。

職員の交流は、小学校の指導主事訪問（年 5 回）の際、全職員が交代で授業参観をさせてもらい、協議にも参加した。6 月の園訪問（指導主事訪問）には、小学校の校長・教頭先生に参加してもらった。7 月には、小学校の先生方に来園してもらい、保育参観と情報交換を実施した。

令和4年度 幼保連携型認定こども園 角館こども園事業報告書

1. 概況報告

コロナウイルス感染症の拡大により、活動が制限される中ではあったが、子どもたちの育ちに少しでも影響が及ばないよう、保育環境を見直し、最大限にできることを職員全体で探ってきた。園目標である「心豊かでたくましい子の育成」を目指し、保護者との相互理解、職員間の連携を図りながら、一人一人の子どもたちが安心して自己発揮し、意欲と自信をもって生活できる環境づくりに努めてきた。

(1) 教育・保育部門

「子ども一人一人の内面理解と育ちを見通した意図的な環境の構成と関わり」を重点におき、一人一人に合った「育てたい力」を明確にした関わりができるよう努めてきた。子どもの変容を捉えると同時に保護者へも伝えられる工夫をしながら、共に子どもの育ちを支えていける関係づくりにも配慮してきた。

(2) 給食部門

食を営む力の育成に向け、その基礎を培うために、日々の生活と遊びを通して園児が自ら食に関わる体験を積み重ねていくことを重視し取り組んできた。よく遊ぶことで「お腹のすくりズム」を整えたり、身近な野菜の栽培を通して食に関心をもったりすることで「楽しい食事」ができる環境づくりに努めてきた。

アレルギー児に対しては家庭との連携を図るとともに、どの職員が関わっても誤食することのないよう共通理解を深め、安全に配慮しながら除去食を提供し、他児と同様に楽しい食事ができるよう配慮してきた。

2. 利用定員

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
1号認定				3人	3人	8人	14人
2・3号認定	15人	23人	27人	29人	31人	29人	154人

3. 認定別・月別園児数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1号認定	6	6	6	8	8	8	9	6	6	6	5	5	79
2・3号認定	152	154	154	153	155	155	152	155	156	156	157	157	1,856
合 計	158	160	160	161	163	163	161	161	162	162	162	162	1,935

4. 月別活動記録（園児分）

月 日	活動内容	成果	月 日	活動内容	成果
4 月 1 日	新年度保育開始		10 月 14 日	さつまいも掘り	収穫を楽しむ
4 月 7 日	開園式・入園式	開園・入園を祝う	10 月 19 日	総合避難訓練	危機管理
5 月 16 日	内科検診Ⅰ(3～5歳児)	健康状態の把握	10 月 21 日	内科検診Ⅱ(3, 4, 5)	健康状態の把握
5 月 19 日	内科検診Ⅰ(0～2歳児)	健康状態の把握	10 月	内科検診Ⅱ(0, 1, 2)	健康状態の把握
5 月 26 日	合同引き渡し訓練	園小中連携	10 月	フリー参観	育ちの共通理解
5 月 31 日	園外保育(4) 神岡	開放感を味わって遊ぶ	25・26・27 日		
6 月 30 日	さつまいもの苗植え	植物の生長を楽しみにする	10 月 28 日	園外保育(5) 大森山動物園	身近な生き物に触れる
6 月 日	歯科検診	歯の検合状態を把握	12 月 10 日	発表会(5)	様々な表現を楽しむ
6 月 8 日	園外保育(5) 秋田空港	空港での新たな体験	12 月 17 日	発表会(3, 4)	様々な表現を楽しむ
6 月 16 日	総合避難訓練	危機管理	12 月 23 日	クリスマス会	行事に親しむ
6 月 20 日	園外保育(3) ラベンダー園	自然に親しむ	1 月 27 日	園外保育(5) 田沢湖スキー場	季節の遊びを楽しむ
7 月 5 日	保育参観(0, 3)	育ちの共通理解	2 月 2 日	園外保育(4) 田沢湖スキー場	季節の遊びを楽しむ
7 月 6 日	保育参観(1, 4)	育ちの共通理解	2 月 3 日	節分の集い	伝統行事に触れる
7 月 7 日	七夕を楽しむ会	季節の行事に触れる	2 月 7 日	保育参観(5)	育ちの共通理解
7 月 21 日	夏まつり	季節を楽しむ	2 月 9 日	保育参観(0, 2)	育ちの共通理解
9 月 6 日	秋まつり	地域の伝統に親しむ	2 月 14 日	保育参観(1, 3)	育ちの共通理解
9 月 8 日	小若曳き山(5)	地域の伝統に触れる	2 月 16 日	保育参観(4)	育ちの共通理解
9 月 15 日	園外保育(4) ラベンダー園	自然に親しむ	3 月 3 日	ひなまつりお茶会(5)	茶道を学ぶ
9 月 15 日	カワイ体操教室(0, 1, 2, 3)	体を動かす心地よさを味わう	3 月 3 日	ひなまつり会	伝統行事に触れる
9 月 21 日	カワイ体操教室(4, 5)	体を動かす心地よさを味わう	3 月 14 日	祖父母参観(5)	成長を喜び合う
10 月 6 日	未満児運動会	体を動かす心地よさを味わう	3 月 16 日	お別れ会	感謝の気持ちをもつ
10 月 8 日	以上児運動会	体を動かす心地よさを味わう	3 月 18 日	卒園式	卒園を祝う
10 月 13 日	園外保育(3) 生保内公園	自然に触れる	3 月 20 日	修了式	成長を喜び合う

毎月実施～誕生会・安全指導・避難訓練は毎月実施 父母の会環境整備（6月、7月、9月）

5. 職種別職員配置状況

（令和5年 3月 31日現在）

	園 長	副園長	保育教諭	保育補助	栄養士	調理員	調理補助	用務員	嘱託医 薬剤師	合 計
法人職員		1	8		1			1		1 1
準 職 員			1 7	7		3	2			2 9
委託職員	1	1	7						3	1 2
合 計	1	2	3 2	7	1	3	2	1	3	5 2

＊地域子育て支援事業 配置職員 1名 一時預かり事業 配置職員 2名

6. 教育・保育の提供時間及び職員の勤務体制・勤務時間

開園時間	： 7 時 3 0 分～ 1 8 時 3 0 分	勤務体制・勤務時間
教育標準時間認定	： 8 時 3 0 分～ 1 5 時 3 0 分	早出 ： 7 時 3 0 分～ 1 6 時 1 5 分
保育標準時間認定	： 7 時 3 0 分～ 1 8 時 3 0 分	日勤 ： 8 時 3 0 分～ 1 7 時 1 5 分
保育短時間認定	： 8 時 3 0 分～ 1 6 時 3 0 分	遅出 ： 9 時 3 0 分～ 1 8 時 1 5 分
*保育認定は、上記の範囲内で必要とする時間		遅出 ： 9 時 4 5 分～ 1 8 時 3 0 分

7. 職員研修実績

(1) 園外研修

積極的に参加し資質の向上に努めるようにした。コロナウイルス感染予防対策のため、オンラインの研修が多かったが、研修を重ねることで職員の意識も高まり、学びにつながった。参加研修回数 82 回、延べ参加人数 187 名。

その他、はなさき仙北研修会も開催され、他園と事例を持ち寄りながら、子どもの育ちについて語り合う場を設けることができた。

(2) 園内研修

テーマを「大好きみつけ！もっともっとを楽しむ子どもを目指して」とし、一人一人が夢中になれる遊びをみつけ伸び伸びと楽しめるよう、発達を見通した保育者の意図的な関わりについて研修を重ねた。各学年の視点を明確にし、それぞれの年齢での公開保育を行い互いの保育を見合う研修を実施した。記録や事例をもとに、子ども一人一人の内面を読み取り、何に意欲的をもって取り組もうとしているのかを保育者同士で語り合うことで、環境の再構成を図り、具体的な援助・意図的な関わり・計画等につなげていった。

8. 学校評議員会・職員会議・運営委員会・給食会議等実施内容

(1) 学校評議員会

コロナウイルス感染状況を踏まえ定例会議は 1 回のみの実施となったが、その他に屋外で開催された運動会活動の参観を行い、園での活動の取り組みや子どもの姿をご覧いただくことができた。定例会議時は保育全般を参観していただくと共に、自己評価を基に委員の方々から園運営の改善につながる評価とご意見をいただくことができた。

(2) 職員会議

定例会議（毎月・※4月には2回開催）、各委員会会議、行事担当者会議

(3) 運営委員会

生活と保育の状態を確認しつつ、職員全体に周知すべきこと、行事、研修、保護者支援等、運営全般にわたり話し合う。（メンバー構成～園長、副園長）

(4) 給食委員会等

毎月開催。給食全般についての意見・情報交換とアレルギー児の情報の共有。
嘔吐物処理の仕方やアレルギー対応についての実施訓練も行う。

(5) 安全管理委員会

毎月開催。避難訓練、安全指導及びヒヤリハット事例を基に改善策について話し合う。

9. 災害訓練・健康管理・衛生管理等実施内容

(1) 災害訓練

避難訓練（毎月）、総合避難訓練（6月、10月）、園小中合同引き渡し訓練（5月）
安全点検（毎月）、安全指導（毎月）

(2) 健康管理

園児：内科検診、脊柱・運動器保険調査（5月・10月）、入園時内科検診（随時）
歯科検診（6月）、尿検査（6月）、視力・聴力検査（7月）※3歳以上児
職員：健康診断（年1回）、給食関係者及び乳児担当者検便（毎月）
給食関係者（ノロウイルス検査6回）、乳児担当者（ノロウイルス検査3回）

(3) 衛生管理

清掃、防虫駆除、消毒（感染性の流行期には毎日、保育室・玩具等を消毒）

10. 一時預かり事業

(1) 幼稚園型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、54人

(2) 一般型

仙北市一時預かり事業業務を受託して実施した。延べ利用者人数は、25人

11. 地域子育て支援拠点事業

子育て支援室において、専属の職員を配置して、毎週火曜日9時30分から11時30分まで「おひさまルーム」を開催し、子育て中の保護者の交流の場として活用された。

新型コロナウイルス感染症の拡大・予防により開催できなかった日が5回。また、他園と開催曜日が重なったことで、全体的に参加人数も少なかった。今後は開催曜日を変更したり、さらに積極的に情報を発信したりしながら、気軽に参加できる場を提供していく必要があると感じている。

24回開催。利用者人数は、延べ103人（46組）であった。

12. 園児への虐待防止に向けての取組

- (1) 虐待防止マニュアル、チェックシートからそれぞれの保育行為を振り返る。
- (2) はなさき仙北職員倫理綱領、虐待防止規定を順守する。